

## 「第1回 食育活動表彰」で農林水産大臣賞 JA西三河が西尾市長を表敬訪問・受賞報告

JA西三河は今年4月、「第1回 食育活動表彰」の教育関係者・事業者部門（農林漁業者等）で農林水産大臣賞を受賞しました。

表彰式は6月30日、岡山市・岡山コンベンションホールで開かれた「第12回食育推進全国大会inおかやま」の席上で行われ、JAの齋藤種治専務理事が、細田健一農林水産大臣政務官より表彰状を受け取りました。

これを受けてJAは、食農教育活動を行う中で多大な協力を頂いた西尾市へ感謝の意を示すため、8月1日に西尾市役所を表敬訪問し、名倉正裕代表理事組合長らが西尾市の中村市長へ受賞の喜びを報告します。



JA西三河の齋藤専務（右）が、  
細田農林水産大臣政務官より表彰状を受け取る

### ■表敬訪問 日時■

【日時】8月1日（火） 午後4時30分～

【場所】西尾市役所3階 応接室

### 【JA側参加者】

代表理事組合長 名倉正裕

営農部 部長 黒野善久

営農部 営農企画課 係長 岩瀬秀教（食農教育担当）



### 【食育活動表彰とは】

農林水産省が、優れた取り組みを行う食育関係者を称え、先進事例として全国に紹介・展開して行くことを目的に開始したもの。第1回食育活動表彰の募集は平成28年11月から翌29年2月にかけて行われ、ボランティア部門3部門、教育関係者・事業者部門4部門の計7部門に、全国から合計261団体の応募がありました。

※参照：農林水産省ホームページ 食育活動表彰

<http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/hyousyo/161102.html>



この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

JA西三河 企画課 担当：岡田

（電話：0563-56-5214

メール：kikaku@ja-nishimikawa.com

携帯：070-1414-4251）

JA西三河 営農企画課 担当：岩瀬

（電話：0563-56-5274）

## JA西三河の食農教育活動

### ■ JA西三河の食農教育活動 概要

JA西三河では、「食」と「農」に対する理解促進のため、子ども達や親子を対象にした地域ぐるみでの食農教育活動を展開しています。

主活動である「米づくり体験授業」のほか、公募で実施する野菜作り体験「家族食・農体験農場 親子で学ぶ日曜学校」、県域団体のJAあいち経済連等と協力して実施する農業体験「親子で学ぶあいち米 おコメ実らせ隊」などを開催。また、農協内各部会（稲作青年部、きゅうり部会、女性部）も食農体験行事を開催し、地域一体となって「食」と「農」の大切さを伝えています。

### ■ 米づくり体験授業

「米づくり体験授業」は、JA主体では平成21年度平成21年（個別の活動としては昭和58年度）から継続して行っています。開始から8年を経過し、こどもだけではなく、小中学校の教育関係者・地域の農家・地域住民・PTAや保護者の参加・協力の輪も広がり、広く市民になじみのある親しみある行事として定着しています。

平成29年度は市内18の小学校（5年生、特別支援学級を含む）で、①田植え、②かかしづくり、③稲刈り、④収穫祭を主に行うほか、各小学校では、田んぼアートづくり・泥リンピック・観察記録づくり・バケツ稲との比較等、工夫をこらし独自の取組を展開しています。

毎年度末には食農教育活動に関する意見交換会を開催しており、学校、農業指導者、JA支店の全関係者、東海農政局、愛知県、西尾市の行政機関が一堂に集まり、感想を共有し、次年度への改善、継続に向けて意識の共有を図っています。

### ■ 食育活動表彰で農林水産大臣賞を受賞

#### JA西三河への審査講評

JAと行政、生産者組織などが一体となった協力体制が高く評価され、2016年4月には農林水産省の主催する「第1回 食育活動表彰」の教育関係者・事業者部門（農林漁業者等）で農林水産大臣賞を受賞しました。この年6月に行われた表彰式では、JA西三河の取り組みは以下のように講評されました。

「新しいアイデアで挑戦的に取組を進めていることが良く分かった。表彰された取組を参考に、今後も更なる食育活動を推進してほしい」（中嶋康博審査員長）



「米づくり体験授業」の様子  
田植え（5月・上）・稲刈り（10月・下）



表彰式後に行われたグループセッション  
食農教育活動を担当する営農部営農企画課の岩瀬秀教係長が事例発表を行う



# 農林水産省「第1回 食育活動表彰 事例集」 JA西三河 活動紹介ページの抜粋



教育関係者・事業者部門  
《農林漁業者等》

## 農林水産大臣賞

### 西三河農業協同組合 (愛知県推薦) 活動期間 11年

「食」と「農」に対する理解促進のため、地域ぐるみで  
豊かな心を育む食育活動

#### 工夫をこらした米作り体験学習

西尾市内小学校全18校を対象に、教諭、地域農業協力者、地域住民、PTAの協力を得て米づくり体験学習を実施し、田植え、かかしづくり、稲刈り、収穫祭を行っています。田んぼアートや泥リンピック、観察記録、バケツ稲との比較等、工夫をこらし独自の取組を展開しています。収穫祭では、もちつきを主に、箱寿司、押し寿司等、郷土料理、食文化についても学ぶことができます。



かかしづくり体験

#### 地域で支える体験活動

主活動の米作り体験学習は、毎年3月に、全小学校教諭、地域農業協力者、行政関係機関（東海農政局、愛知県、西尾市）が集まり、意見交換会を実施し、感想や改善点を共有し、次年度の取組に反映するなど、地域ぐるみで継続できる体制が確立されています。体験活動を支える地域の協力者にとっても、子供たちとの交流は大きな励みとなっています。



田植え体験

#### 市民への農業体験学習の場の提供

小中学校での野菜作り体験学習、西尾市民親子を対象とした日曜学校、県域団体と連携した米作り、JA各部会の行事（よいきゅうりの日、愛知県産小麦うどん作り等）を開催し、市民に農業体験学習の場を広く提供し、農業に対する理解促進に努めています。



よいきゅうりの日

地域農業発展のために  
尽力すること、地域に  
安全・安心な食料を提  
供することとあわせ、  
『食の大切さ』を地域  
に伝えることはJAに  
とって重要な使命です。



我々JAは今後とも、食の安全・安心に留意し、高品質の米や麦・大豆、野菜等の食料を地域に届けていきます。地域の皆様にはぜひ地元の農作物をご利用いただき、豊かな食生活に役立てていただきたいと思います。

西三河農業協同組合 代表理事組合長  
名倉 正裕